

引越し騒動記

平成24年9月28日(金)のサロン引越しの顛末

こらぼサロンよ サヨウナラ！

私たちの大田区パソコン同好会は、平成11年1月に発足しました。14年の歴史を積み上げてくる中に、色々と紆余曲折があったと思います。

初期の頃の会報を紐解くと、活動場所(例会会場)が個人宅であったことがわかります。

その間に西馬込ライフコミュニテイセ
(今は懐かしきこらぼサロン)



ンターや池上文化センターなどが使われていたようです。

最初から「大田区教育委員会 社会教育関係団体登録 NO. 1011052」として出発したことはたいへん良かったと思います。

名詞にこの肩書きをつければ、社会的にも功績のある団体として、誇りを持って差し出すことが出来ます。

その後公的施設の利用が多くなり、平

成20年より「こらぼサロン」が拠点となって、現在の姿になりました。

この「こらぼ」の施設は、1団体が長期間固定して借りることは出来ないシステムで、今年度いっぱい立ち退きを迫られたことから、今回の引越し騒動となりました。

長老の腰が危ない？

伊山元会長と田辺氏の尽力により、蒲田サロン(蒲田西口商店街振興組合の会議室)を水曜日と木曜日午後を格安で借りることができました。

しかし、組合でも使用する会議室であり、物置のようにも使われています。

当初、家具類は廃棄処分にして、パソコン機材と書類くらいの引越しを想定し、会員だけで運ぶ予定でした。

その後、机やロッカーまで持ち込めることになり、私たちが車で机などを建物の入り口まで運ぶとして、狭い階段を4階まで運び上げる人は誰かと想定したところ、後期高齢者の長老しかいない。

長老の腰が危ない！膝が危ない！

急遽家具類・機材は引越し業者に頼むこととなり、廃棄物は私たちが処理しました。

引越し当日は、幸い台風の影響も少なく、荷物の積み出しから掃除まで、「飛ぶ

鳥跡を濁さず」の言葉通り、奇麗にお掃除を済まして「こらぼ」とサヨナラをすることができました。

蒲田サロンには、部屋を奇麗に掃除して運び込みましたが、これから例会室として使いながら、徐々に使いよく収納する必要がありますと思います。

無線設備を急げ！

引越しに先立ち、早急にインターネットに繋げるように手続きをするよう指令が降りました。

「こらぼサロン」では、ケーブルテレビを利用した有線で受信していましたが、蒲田では無線で受信することになり、伊山先輩の指導の下に、田辺氏と会計の和泉さんとで無線機を購入し、柚木氏に依頼して、ようやく10月3日の蒲田サロン初日に設置することができました。

同じ日に、重要書類を格納するため、ロッカーに鍵をつけるように指令があり、鍵屋に依頼して、4日田辺氏立会いの下に作業を終了いたしました。

「こらぼサロン」のケーブルテレビを解約したために、思わぬ事態が起きました。OPCのホームページが閉鎖されてしまったのです。

あわてましたが、既に消えてしまい、復元は難しいというので、新たに作り直すことになってしまいました。

急遽、ホームページ担当である藤田さんが、資料を使って復興再開してくれました。

今までは藤田さんを中心に少人数で更

新していましたが、この機会に勉強会を立ち上げ、グループで管理しようという機運が起こってきました。

♡夢見る蒲田サロン♡

さて皆様は新しい蒲田サロンをこれからどのように発展させたらよいとお考えでしょうか。

○「立地条件が良くなったから、会員募集がし易くなった。」

○「会場が広くなったから、会員の勉強会も多彩に出来る。」

○「インターネットを、多数の会員が同時に使用出来るから、もっとインターネットを使った実践訓練が出来る。」

など、色々な活用方法を夢見ることが出来ると思います。



(蒲田サロンにお引越し)

「初級から勉強して、基礎から学びたい」という希望があります。

このような初心者希望を受け入れるためには、指導者の育成が急務です。

新しいサロンという拠点を中心に、お互いに教えながら自分も学ぶ、共に学びながら育つ、という当会の理念のもと、和気藹々と楽しみながら会を発展させたいですね。
(真壁文男記)